# 奈良新聞　11月13日

## 通も満足

## イネの病気を解明

### 白葉枯病で近大チーム　農薬開発に期待



白葉枯病に感染したイネ＝京都府精華町の京都府立大農場（同大提供）




白葉枯病菌が増殖する仕組み

稲作被害をもたらす白葉枯病菌が、イネの中で増殖する仕組みを近畿大農学部（奈良市）の川崎努教授のチームが解明し、12日付の英科学誌の電子版に発表した。農薬の開発に役立つ成果としている。

白葉枯病は菌が緑から白っぽくなり株全体が枯死する病気で、東南アジアを中心に大きな被害が起きている。

川崎教授によると、日本では感染が広まる前に収穫するようにして被害が減少したが、台風などでイネが傷つくと感染しやすくなる。

植物の細胞は通常、表面にあるセンサーで菌の成分を感知し、免疫タンパク質が細胞壁を強くしたり抗菌物質を作り出したりして対抗する。

チームは、白葉枯病菌がイネの細胞内に「Xop（ソップ）P」というタンパク質を送り込み、免疫タンパク質と結合することで免疫反応を抑制して感染を広げることを突き止めた。人工的に感染させたところ、遺伝子操作してXopPを組み込んだイネの菌には、菌が増殖した。

トマト斑点細菌病やキャベツ黒腐病など、他にも多くの作物の病原菌がXopPを持っており、川崎教授は「さまざまな病気に効く農薬の開発につながる」と話す。

### 正倉院展閉幕

奈良市登大路町の奈良国立博物館で開かれ中、昨年より約2万3000人多い約29万3648人が来場した。皇太子さまや高円宮妃

### 危険ドラッグ所持で男逮捕

容疑で奈良署

危険ドラッグを所持していたとして、奈良西署などは12日、麻薬及び向精神薬取締法違反（所持）の疑いで、生駒市萩の台1丁目、とび職、吉田大悟容疑者（22）を逮捕した。

同署の調べでは、吉田容疑者は9月13日午後6時ごろ、奈良市内町の第3政奈有料道路

### バイクの高校生　衝突事故で重体

田原本の交差点

11日午後1時ごろ、田原本町八尾の町道交差点で、県内の県立高校の男子生徒（16）のミニバイクと田原本町のパート従業員の女性（63）の軽乗用車が出合い頭に衝突した。男子生徒は頭などを強く打ち、意識不明の重体。女性にけがはなかった。

天理署によると、現場は信号機のない交差点。同署で事故原因を調べている。

すべての人に心伝わるご葬儀
総合葬祭式場
天礼会館
TEL 0743-63-1187
株式会社 天理葬儀社
TEL 0743-63-1187
総合葬祭式場
天礼壮大和会館
TEL 0743-53-1187
株式会社 天礼社
TEL 0743-63-1187

奈良県観光互助会指定　奈良県畳業工組合加盟店
文化財畳保存会会員　一般社団　品質管理認定工場
奈良県知事許可（般）第7230号
朝引取り　夕方納品　OK！
梅尾畳店
奈良市紀寺南方町210-4
TEL (0742)24-0247（代）

9月に始まったツアーは月1回、2～4寺を訪ね、来年8月が最終回。ツアーを運営するピーエス観光の福田宅光さん（46）は「お寺側が一年懸命。参加者は寺巡りの〝ベテラン〟が多いが、普通にしていただける」と話している。

ツアーは途中からでも参加できる。問い合わせはピーエス観光、電話06（6444）2525。

寺（京都府長岡京市）の副住職日下俊英さん（45）は「企画を通して私たち次世代が交流できればいい縁って欲しい」と訪れを歓迎する。

10月11日に行われたことし2回目のツアーには、中高年層主体の52人が参加。バス2台で大津市の比叡山延暦寺と立木山寺を訪れた。バスガイドも務めた。

延暦寺横川（よかわ）中堂では、通常入れない内陣を拝観後、霊場会のゆるキャラ「おがみん」と記念撮影した。全員がツアー独自の輪袈裟（わげさ）を肩にかけ、拝観時には般若心経を唱えた。

ガイドを務めた福谷

「ない」と、霊場会に所属する寺の30～50代の僧侶を案内役に加えた。宗派を超え、次代の担い手が知識を得て、経験を積む機会にする狙いもあった。

近畿の名刹（めいさつ）で組織する新西国霊場を巡礼するバスツアーを今秋から始めた。知恵とアイデアを持ち寄り企画、出発地からお坊さんが同乗した「通」も満足する人気という。

「西国のおまけ」（霊場会事務局の山岡武明・四天王寺夢長らは「朱印を集める副課長という状態だ。スタンプラリーにはし